

J R東日本労働組合 秋田ジャーナル

J R東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 笹渕 太郎

編集者 ～ 教 宣 部



HPはこちら！

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060

参議院選挙も中盤戦に突入！

あともう一步！あなたの一票ともう一票、二票、三票の上積みをも！

佐々百合子候補の個人演説会が行われる！



佐々百合子候補は、6月28日18時から秋田駅西口「アゴラ広場」において個人演説会を行いました。選挙戦も1週間が過ぎ、当初の知名度不足も寺田静参議院議員との二人三脚で懸命に追い上げ、現職議員の後ろ姿が見えるところまで追い上げてきました。

佐々百合子候補は『誰もが活躍する社会より、誰もがそこにいて尊重される社会。それが私が目指す日本の姿です。皆さんから支えて頂き7日目を迎えることが出来た、本当に心からありがとうございます。』

家族の誰かが障害を持つとその家族みんなが大きく一変してしまう。そんな日本の社会は間違っている。私は強くそう思っている。私が取り組む課題は、物価高への対策、新しい事業の創出、地域の活性化、子育て・教育のこと、私の一番の課題、秋田県の課題である「少子高齢化」のことなどです。

若い人は選挙に行っても投票しても何も変わらない、そう思うかもしれません。私もそのような思いはある。けれど諦めてはいけない。諦めたらそこで終わってしまいます。今は意味が無いと感じるけれど、私たちの未来は秋田の未来は政治と切り離すことは出来ません。若い人達の声を投稿という形で示してもらいたいと思います。7日間多くの方とお会いしました。そしてここに多くの皆さんが集まってくれています。弱い立場にいた私だからこそ聞くことが出来る声があると、皆さんが声を掛けてくれました。

苦しい状況にあることを私に訴えてきてくれました。その声をなんとか政治の場で解決していきたいと思えます。ここにいるお一人おひとりが頼りです。どうか皆さん、苦しい状況に置かれている方々を助けるために私に力を貸して下さい。よろしくお願いします。』

これから中盤戦に入りますが、自分の一票と家族・友人、知人への一票、二票、三票の上積みも勝敗の行方を決めます。厳しい選挙戦ではありますが、組合員と家族のご支援・ご協力を切にお願い致します。

連合会長・芳野友子氏も応援に駆けつける！



『6月23日は慰霊の日です。沖縄で目に入ったのは悲惨な状況です。今、ウクライナで起こっている状況です。命は何よりも優先されなければならない、人権は尊重されなければならない。日本が過去経験してきたことがウクライナで起こっています。労働組合は日々会社と交渉して職場の環境改善について話し合いをしています。

ウクライナで起こっている問題については労働組合では限界があります。国会の場で国がどうしていくのか、しっかり対応していくのかが必要です。民主主義を守っていくには与党に対峙できる政党や政治家が必要です。女性や子供らの弱い立場にある人が犠牲になっている。今、格差が拡がり貧困層が増えている。この方達に非常に女性が多い。

一人親家庭も女性が多い。こうし

た貧困になっている方の声を誰が代弁できるのか。やはり同性の女性ではないかと思っている。

子供もストレスを抱えている。ジェンダーギャップ指数というものがあるが、156ヶ国中日本は120位。先進国では低位になります。どこが遅れを取っているのか？政治の分野です。

多様性、様々な方達が意思決定の場にいることが私たちの暮らし、言えなかったことが言える。男性が意思決定の場に多く、女性の声が届かなかった。

今の与党は男性中心です。安心して生活ができ、働き続けられる環境を作ろうと連合は活動しているために、しっかりと野党・立憲民主党の佐々百合子さんをぜひ国政へ送り込んで下さい。共に頑張りましょう！』

芳野会長から佐々百合子さんへの熱い激励が述べられました。



グータッチをする芳野会長と佐々候補

☆ささゆりこ（秋田選挙区）

☆田名部匡代（青森選挙区）

☆有田 芳生（全国比例区）



三人の候補者の必勝を勝ち取ろう！